

2018年度(平成30年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(12)番 福山市立 培遠中学校

1 育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)

育成する力(21世紀型“スキル&倫理観”)	課題発見・解決力	論理的思考力	コミュニケーション力	実践力(高い奉仕の精神)
めざす子ども像 (21世紀型“スキル&倫理観”を身に付けた生徒の姿)	身の回りの様々な現象について「なぜだろう」と考えるとともに、自分なりの解決策を考えることができる。	様々な事象の理由や原因を「なぜならば」という言葉を用いて、考えたり説明したりできる。	TPOにより相手の立場に立って考え、自分の意見を伝えたり、行動したりすることができる。	身のまわりや地域の課題を自分たちで解決しようと進んで行動することができる。

2 授業の現状

毎授業、生徒にめあてを示し、めあてと対応したまとめや「ふり返し」を行うなど、授業の型を意識して授業を行っている。学力を定着させていくために、全教科で「かく」活動を取り入れるとともに、ICT機器の活用やグループ活動により学習意欲や思考力・表現力の向上に努めている。

転換

3 めざす授業の姿

生徒が「なぜ」と考える[めあて]の提示や、ICT機器の活用等を通して生徒が主体的・対話的に活動し、グループ学習等の集団思考によって、基礎学力の定着と「深い学び」を感じる授業。

4 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
①単元の中で、単元の目標に迫るためのパフォーマンス課題を設定する。 ②自分の考えを「書かせる」授業を行う。 ③生徒の「主体的」で「深い学び」のために、ICT機器を有効に活用した授業づくりを行う。	①単元の中で、パフォーマンス課題を設定しているという質問に肯定的に答えた職員は100%であったが、具体的な実践の共有ができていない状況である。 ②毎時間書く活動を設けている。書く活動の評価基準を持っているという質問に肯定的に答えた職員はともに92%であった。 ③ICT環境の整備は進み、各学年活用できる環境は整いつつあるが、活用できていると答える職員は83%であった。	①2学期の授業内で、子どもの問いを中心とした課題発見・解決の場をつくり、実践の共有をする。 ②カリキュラムマップをもとに、各単元における育成する力を見直し、ルーブリックを作成して指導計画を立てる。 ③ICT機器を活用した授業について、実践報告を作成し、アイデアを共有する。	①単元の中に、子どもの問いを中心とした課題発見・解決の場をつくっていると答えた職員は82%、「主体的な学び」を進めるために教材・題材・導入を工夫している職員は88%であった。 ②カリキュラムマップに沿って、育成する力を意識した授業を行っている職員は88%であった。 ③ICTの活用・教具の工夫ができてると答える職員は76%であった。ICTの実践報告は現在3教科で作成されている。	①子どもの問いを中心とした課題発見・解決型の授業づくりを通して「主体的な学び」について追及する。 ②カリキュラムマップをもとにした授業実践を見直し、次年度の指導計画を完成させる。 ③全教職員がICT機器を活用した授業の実践報告を作成し、校区で実践事例集を作成する。	①各職員が、子ども主体の授業づくりに取り組んでいるが、その成果の検証や、継続的な実践共有において課題が残っている。 ②全教職員が参加して、今年度の改善点を取り入れた来年度のカリキュラムマップを作成している。 ③校区で「深い学び」につなげるICT実践事例集を作成し、アイデアを共有した。また、1月には全てのクラスの授業でICTを有効活用した授業の公開も行った。

5 取組の結果等

H30 全国学力・学習状況調査(%)

	A問題	B問題
国語	76.0(±0)	62.0(+1.0)
数学	66.0(±0)	45.0(-1.0)
理科	67.0(+1.0)	

()は県平均との差

H29「基礎・基本」定着状況調査(%)

	タイプⅠ	タイプⅡ
国語	68.0(-2.4)	47.8(-16.2)
数学	68.1(-1.6)	54.1(-3.3)
理科	62.3(+7.8)	45.5(+0.2)
英語	79.3(+4.6)	62.4(+2.5)

H30 体力づくり改善計画【広島県体力・運動能力調査】

県平均以上項目数	前回目標値に対する結果	重点課題	改善する取組内容・方法
(男子) 15 / 24	新体力テストの県平均を上回る項目数を40%以上にするという目標に対して、目標達成できた。	○全学年、上体起こし、50m走、ハンドボール投げを県平均以上にする。 ○部活動の活性化 ○委員会活動の活性化	○平均を下回った種目の再測定を年間を通して実施するなど、体力向上への関心・意欲の向上を図る。 ○部活習慣や部活デーを設定するなど、部活動の活性化を図る。 ○保健だよりや掲示物、委員会を活用した啓発活動により、三点固定の取組を推進していく。
(女子) 12 / 24			
目標値	新体力テストの県平均を上回る項目数を50%以上を維持する。		

H30「基礎・基本」定着状況調査(生徒質問紙調査)(%)

内容	国語		数学		理科		英語	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	36.8	50.7	32.6	30.6	16.7	41.0	38.2	27.8
学校が楽しい	よく:37.0		やや:44.4					

暴力行為発生率・不登校生徒出現率(%)

暴力行為	2.56 %	不登校	2.77 %
------	--------	-----	--------

H30 (12)月末現在

福山100NEN教育アンケート[対象:授業者](%)H30

質問項目	よく	当てはまる
仕事にやりがいを感じている	0.0	30.0
仕事に充実感がある	0.0	15.0

児童生徒アンケート(%) H30 (12)月実施

質問項目	当てはまる	少し
授業で考えることが面白い	71.1	28.9
自分の考えは、認められている	74.1	25.9